

「議員と語る会」田皆公民館

令和8年7月2日

質問・要望と議会回答

1 障がい者就労支援事業所「サクラバイオ」について

【質問】

視察先として説明のあった「サクラバイオ」は、どのような会社・事業所なのか。

【回答】

鹿児島市内で障がい者の就労支援等を行う民間事業者で、児童発達支援、放課後等デイサービス、就労継続支援 A 型・B 型、自立訓練、就労移行支援、相談支援等、子どもから大人まで幅広い支援を行っている。

2 障がい者雇用の現状と地域での支援について

【質問・意見】

障がい者雇用が町内でどの程度進んでいるのか、実態を把握して町民に示してほしい。障がいのある方を地域の中で隠すのではなく、得意なことを生かして一緒に働き、地域住民ができる支援を考えることが大切ではないか。

【回答】

役場の障がい者雇用率については議会でも確認しているが、町内全体の障がいのある方の人数や就労状況については、個人情報との関係もあり詳細な公表が難しい面がある。福祉計画等の中でも十分な数字が示されていない部分があり、実態把握の方法を含め検討が必要である。地域の中で障がいへの理解を深め、支援や仕事につながる仕組みを広げていくことが重要である。

3 災害時における障がい者・要支援者の避難について

【意見・要望】

災害や有事の際、障がいのある方、高齢者、介護が必要な方などを地域でどのように避難させるのか、平時から把握し、支援体制を整えてほしい。

【回答】

町では避難行動要支援者のリストを作成し、民生委員や区長等と情報を共有している。今後、地域で実際にどのように支援・避難するかを具体化していくことが重要であり、国民保護を含めた勉強会等も予定している。

4 町ホームページの分かりやすさと情報更新について

【意見・要望】

町ホームページは以前より検索しやすくなったが、必要な情報が見つけにくい場合がある。台風情報などでは、記事の日付や更新日が分かりにくく、いつの情報なのか判断できないことがある。見る側の立場に立ち、分かりやすい構成と迅速な更新をしてほしい。

【回答】

議会からも以前からホームページの見やすさや検索性について改善を求めており、現在は形式が変更されている。各課に対しても古い情報や誤った数字等を確認し、新しい情報へ更新するよう働き掛けている。町公式アプリや LINE では新しい情報が随時配信されているが、ホームページについても記事の日付やリンク等を含め、さらに改善を求めている。

5 サトウキビの収穫・搬入時期について

【質問・要望】

サトウキビの収穫が近年 5 月頃まで長期化している。工場の処理能力だけでなく、搬入計画等に課題があるのではないか。春植えや管理作業に影響するため、4 月前半頃までに終了できる体制を検討してほしい。

【回答】

近年はサトウキビの生育が良く収穫量が多い一方、搬入計画に基づく受託面積と実際の収穫能力との間にずれが生じ、搬入が追いつかないことがある。工場の処理能力自体は増えているが、ハーベスターによる収穫・搬入との調整が課題である。関係団体とも協議し、早期に収穫を終えられる計画づくりを求めている。

6 県道・農道の伐採と見通しの確保について

【意見・要望】

和泊町と比べ、知名町内の県道沿線の伐採が遅く、草木で見通しが悪い箇所がある。農道でも交差点など危険な場所は、地域のみどりサークル等を活用し、伐採やカーブミラー設置を進めてほしい。

【回答】

県道の維持管理は委託により行われているが、知名町内では作業人員等の課題もあり、対応が遅れている面がある。町民からの意見として関係機関に伝えていきたい。農道については、地域活動による伐採や、必要に応じたカーブミラーの設置等も可能であるため、安全確保に向けて地域と行政が連携して取り組む必要がある。

7 障がい者雇用率と法定雇用率について

【質問】

国・県・町や民間企業に求められる障がい者雇用率はどのようになっているのか。また、町長部局と教育委員会で数値が異なるのはなぜか。

【回答】

障がい者雇用促進法に基づく法定雇用率が定められており、地方公共団体や教育委員会、民間企業では適用される率や算定方法が異なる場合がある。制度改正により率も変更されているため、公開時点の最新の基準を確認して示す必要がある。

8 障がいのある若者の就労と地域の支え合いについて

【意見・要望】

高校卒業後も働く場が見つからない障がいのある若者がいる。本人の得意なことや希望を丁寧に聞き、地域の事業者や住民がつながることで仕事を生み出せる可能性がある。町内の実態を把握し、地域コミュニティを生かした就労支援を進めてほしい。

【回答】

障がいのある方の人数や状況を把握することには個人情報上の配慮が必要だが、見えにくいニーズをどのように把握し、地域の支援につなげるかは重要な課題である。災害時の要支援者把握など既存の地域ネットワークも含め、地域で支える仕組みを考えていきたい。

9 議会改革、元職員による不法行為と町民への説明について

【意見・要望】

議会改革の取組は評価している。一方、元職員による不法行為と損害賠償の問題について、町民には経緯や議会での議論が十分伝わっていないと感じる。町は事実関係を町民に丁寧に説明し、議員も議論の前段階で町民の声を十分に聞き、その意見を審議に反映してほしい。

【回答】

今回の「議員と語る会」で出された意見・質問は全議員で共有し、今後どのように対応し、議会活動に生かしていくかを協議する。町民への説明や意見把握についても、今回の意見を重要な提案として受け止める。

10 議員定数と議会審議のあり方について

【意見・要望】

議員には町民の声を行政へ届け、行政をチェックする役割がある。質問時間の使い方や答弁とのかみ合

わせを改善し、必要な事項を十分調査した上で、より実質的な審議を行ってほしい。その上で、議員定数については削減も含めて検討してほしい。

【回答】

議員定数については検討を進めている。今回いただいた議会運営や審議方法に関する意見も含め、全議員で共有し、今後の議会改革の議論に生かしていきたい。